ときわぎ国領保育園

保育日記★

８月号

平成 27 年５月より、ページをリニューアルしました！「保育日記★」を隔月で更新していきます。
今まで色々な情報を「ときわっこ HP 版」でお伝えしてきましたが、もっと、ときわぎ国領保育園の様子をお伝えしたく、リニューアルすることにしました！保育中に出会った子ども達の素敵な姿や、楽しいエピソードなどをお伝えしていきます。

お泊り保育

2015.7.10　ぞう青組　５歳児クラス

前日、お泊り保育につかう食材などを近くのスーパーに買いに行きます。
買い物かごに山盛りの食材を見て「こんなに買って大丈夫なの？」という声も。みんなで食べる食材は、ひと家庭の買い物量より多いですからね☆

毎年、青組（年長児）は夏にお泊り保育があります。
小さなころから青組さんのお泊り保育を見てきた子ども達には、あこがれのイベントです！
４月に進級した頃から「早くお泊り保育やりたいな～！」と楽しみにしていました。

７月に入り、梅雨の影響で雨の日が続きました。「雨だと花火ができない…」と心配していると「てるてる坊主を作ろう！」とアイディアが出て、一人ひとり“お泊り保育の日が晴れますように”と願いを込めながら、てるてる坊主を作りました。みんなの思いがつまったてるてる坊主のおかげでしょうか、子ども達の願いがかない、お泊り保育当日は天候に恵まれ、すべてのプログラムができました！

順番に、人参の皮をむいたり、じゃがいもを切ったり、みんな真剣！

お泊り保育の様子をお伝えします。
【カレー作り】
エプロン・三角巾・マスクをして、準備万端！
野菜の皮むき、野菜を包丁で切る、お米とぎ…
いつにもまして真剣な表情の子ども達。
玉ねぎの皮むきでは「なんか涙が出そう～」と目を洗いに行く子も！目がしみる体験を初めてしました。

なかなか割れないスイカに苦戦！
みんな何度も叩きました！

【ディナーショー】
スイカ割りの後は、いつも一緒に過ごしている保育者が子ども達の為に、一夜限りの**スペシャルディナーショー**を開催！
子ども達は大喜び！
保護者の観覧席も用意したので、お迎えに寄った他クラスの保護者など多くの人に楽しんでもらいました。

【夕飯】
出来上がったカレーを見て、自然と子ども達から「おぉ～～～っ」という声が上がりました!!
「いただきます！」の声と同時に「おいしい!!」という声が次々に聞こえ、いつも以上にモリモリ食べていました。やはり自分で作ったご飯は、おいしいですよね♬

「この三角の、切ったの僕かな」
自分で切った野菜を探す子もいました。
自分達で作ったカレーは一味違いますね。

【花火】
まずは一人ずつ手持ち花火を楽しみます。最近は花火をする場所も限られ家庭で花火をしたことがない子も増えているようです。初めての花火に少し怖がりながらも、火をつけ色とりどりの花火がつくと「すごい！きれい！」と喜んでいました。

手持ち花火の他に、「ナイヤガラ」などの仕掛け花火も楽しみました。大きな花火に子ども達からは、拍手が巻き起こり目を輝かせていました。子ども達からは「消えないで～っがんばってー！」と声も上がっていました。

おっかなびっくり…
はじめは職員が手を添えないとできない子もいたのですが、慣れてくると一人でも楽しめていました。
何事も、経験ですね☆

【その後のいろいろ】
お隣のデイケアサービスの大きなお風呂に入ったり、
お風呂上がりのアイスを食べたり、
保育園内を肝試ししたり、
たっぷり満喫して、夜９時にはみんなぐっすり zzz…
どの子もさみしがることはなく、いつも以上に笑顔が溢れた一日となりました。

朝になると、お約束のお迎え時間よりも早く保育園に来た保護者の方も多くいました。お泊り保育、実は一番さみしかったのは、親と離れた子ども達ではなく、子どもと離れた保護者の方だったのかもしれません☆

後日、お泊り保育の絵を描きました。どの子も、一つのイベントではおさまらず、一枚の紙に何個ものイベントを描いていました。

最近は親元を離れお泊りするという経験が少ない子も多いのではないでしょうか？！お泊り保育を楽しみにする反面、子どもも、保護者も不安に思う

イベントたっぷりのお泊り保育、たくさんの思い出があり、ついついこの記事も長く長くなってしまいました。
お泊り保育は、子どもにも私にも、とても大きな経験となりました！

気持ちがあったと思います。ですが当日は特別なイベントも多く、大はしゃぎ！親と離れ一泊した経験は何よりも貴重な経験となり自信へつながったのではないでしょうか。保護者の方もひとつ成長した姿を見て喜ばれたのではないかと思います☆

記事：川口

年長が主役になるお楽しみイベントの１つ！「青組（年長）になったらできるんだぁ～！」と年少・年中の頃から楽しみにしている子も♪慣れ親しんだ保育園で友達と共に一夜を過ごし、子ども達はまたひとつ経験が自信へとつながっていくのでしょうね…担任だけではなく、他の多くの職員も関わり、子どもと一緒に楽しみました。

いっしょに はいろうよ～

2015.7.　うさぎ組　２歳児クラス

２歳児からは、少し高さのあるビニールプールです。写真に写っているのは６歳の女の子です。

ちょっぴりプールが苦手なＹくん。ビニールプールの中に入ろうと足をかけてたけど「やっぱりいい…」と断念し、芝の上で座り込みました。
それを見ていたＤくんが保育者に「Ｙくんどうしたの？」と一言。「聞いてみたら？」と返すと、Ｙ君の所へ行き「Ｙちゃん～どうしたの？いっしょに ぷーる はいろうよ～」と繰り返し優しく誘っていました。

その日結局Ｙくんはプールに入ることはできなかったのですが、友達の事を気にかけて思いあう気持ちを感じ、こちらも自然と笑顔になりました。

記事：矢部

当園では、１歳児クラスから２歳児クラスに進級すると、プールの大きさもプール遊びをする場所も変わるので、子ども達にとって、大きなチャレンジです。そんな中で、周りのお友だちを気にかけてくれる優しさが嬉しいです。自我の育つイヤイヤの時期ですが、努力して頑張ろうとする姿を認め、尊重することで「自我の充実」や心の成長につながっていくと思います。

梅干し作り②

2015.8.3　ぞう青組　５歳児クラス

６月から始まった梅干し作りもいよいよ完成し、本日食べました。
土用干しは、特別養護老人ホームの方と一緒に行いました。子ども達が一粒一粒おばあちゃんの手のひらに梅を乗せてあげ、おばあちゃんが、丁寧にざるの上に並べてくれました。子ども達と、おばあちゃんの愛情も、おいしさの隠し味です。
いよいよ、おにぎりにして試食です。一粒ずつ配られた梅干しと、ラップの上のご飯を前に、生唾をごっくんとさせながら種を抜きご飯の上に・・・。苦手な子は、ほんのちょっぴり、大好きな子は一個分をのせ、自分で握ったおにぎりを食べました。

日に日に紫蘇の色素が漬物瓶の中にいきわたっていきます。とってもきれい☆

６月の梅の漬け込みに続き、紫蘇の漬け込みの様子をお伝えします！
梅の漬け込みは、保育日記５・６月号の「梅干し作り①」をご覧ください。

【①紫蘇漬け】
赤紫蘇を茎から離して、塩で揉んで、
梅の上に乗せます。

ふっくらおいしそう～

【②土用干し】
しっかり色がついた梅を土用干し。
梅雨が明けてから３日間干しました。
これで梅干しは出来上がり♬

【③おにぎり作り】

梅から種を外して、
自分でおにぎりにしました。

「酔っ払っちゃうかも～」という子も☆
まるでカクテルの様ですよね。
さわやかな香りの甘いジュースです。

【おまけの紫蘇ジュース】
残った赤紫蘇を使って、栄養士がジュースを作ってくれました。
子ども達は作るところを見学し、きれいな色に変化したジュースを見て「きれい!!」と大喜び。氷を入れたグラスに注がれた紫蘇ジュースを、ちょっぴり大人の気分で飲みました。

記事：中村

食文化の継承と言ったら、かたい表現になってしまいますが、食を通した高齢者の方々との触れ合いは、なんだか自然とやさしい気持ちになります。おばあちゃん達も温かく子ども達を見守って下さいます。
甘くてとても良い香りの黄梅が赤紫蘇できれいな赤色に染まり、瓶のふたを開けただけで食欲のわく香りに変化していきます。保育者も子ども達と一緒にわくわくしながら毎年楽しんで行っています。

お手伝いマン参上！

2015.7　うさぎ組　２歳児クラス

「どいてどいて～っ」と椅子を乗り越え、テーブルを拭いてくれています。

おやつ・給食前に台拭きを用意していると、うさぎ組さんの数名がやってきて「おてつだいする!!」と言葉をかけてくれます。

「ありがとう♪」と机を拭いてもらうと「つぎは なにする？？」と聞いてくれて、コップ・おてふき配り…色々やってくれます。
お手伝いの時は、とても楽しそうで、時にはお友達と、お手伝いの奪い合いをするほど！一人でやりたいという気持ちがあるようなのです。

大人に誉められることに喜びを覚え、どんどん自分でやりたいという気持ちが育ってきています。
初めはお手伝いする子は数名でしたが、最近はそんな様子を見てお手伝いを楽しむ子が増えてきて、大人は助かっています♫

記事：矢部

自立心が育ってきている時期の子ども達ならではのエピソードですね。
「自分でできる」ことが増えてきた自信から、大人の仕事にも興味を示し「やってみたい」という想いも育っているので、子ども達の好奇心や、周りの人と一緒にできる楽しさや喜びを、たくさん経験させてあげられたらと思います。

ごめんねを言えたね

2015.7　ぞう赤組　３歳児クラス

水鉄砲で活発に遊んでいた△くん。そんな中で間違えて水鉄砲で遊んでいない〇ちゃんの顔に、水をかけてしまいました。〇ちゃんは「ヤダ…」と泣き顔です…。

（本文中の児童と写真の児童は関係ありません）
プールに入るほど暑くない時などは、水遊びをします。水鉄砲、色水遊び、おままごと…気づくと子どもたちの体は全身びっしょりになっています！

３歳の△くん、この頃は「ごめんね」を言えないことがあり「やっていないよ」と言いお友達と向き会えないこともしばしば。保育者が仲介し、相手の気持ちを伝えると「ごめんね」が言えるのですが…
今回はどうするかな？と様子を見ていると…

△くん、〇ちゃんの表情を見ると、すぐに駆け寄り「ごめんね」と謝ることが出来ました。水をかけられた〇ちゃんも「いいよ」と言って二人はすぐに仲直りできました！

表情と言葉で相手の気持ちを察し、自分の失敗に意地を張らず素直にごめんねができた△くんの成長を感じ、嬉しく思いました。

記事：山口

友達とトラブルになった際に、悪い事をしたなぁと思っても素直な気持ちを言えなかったり、ごまかしてしまったりすることがあります。しかし、日々保育者が子どもたちに寄り添い、個々の気持ちを代弁して伝えていくことで、昨日できなかったことが今日できるようになったり、保育者や友達の小さな変化にも気づけるようになったりします。
私たち保育者は成長していく子供たちの姿を近くで見ることが出来るので、とても嬉しいです。